

昨日もお伝えしたように浜北 017 の大きなデータにつき、東海地方を警戒しており今後まだまだ大地震に注意が必要です。本日 10 月 26 日 (火) の段階で浜北 017 のデータは昨日と大きくは変わっておらず Max 350 万を超える 6 本の大きな 1 本立ちのデータが 10 月 11 日～18 日ごろまで続いたあとは一気に減って 300/h 前後の数値が上下しています。周囲の観測点のデータでは 浜松浜北 B355 も昨日と大きくは変わらず三重志摩の 10 月 24 日も Max60 万の 1 本立ち、大阪高槻にも Max20 万を超える 1 本立ちのほか、和歌山大地と兵庫宝塚に小さい 1 本立ちが出ています。長期データの伊勢 E481, 伊勢 D484 にも 昨日同期した Max400 程度の 1 本立ちが出ていて、これら数百レベルの小さい 1 本立ちは雷雲の可能性あります。

いずれにせよ、浜北 017 と周囲のデータから、地理的にみて静岡、愛知、三重あたりの東海地域、あるいは長野の関連で中部の大地震の可能性、また西側の伊勢 D, E との同期を考えた場合は関西の大地震の可能性を考え、しばらくの間十分な警戒が必要と思います。

浜北 017 30 日間データ



浜北 017 30 日間データ (拡大)



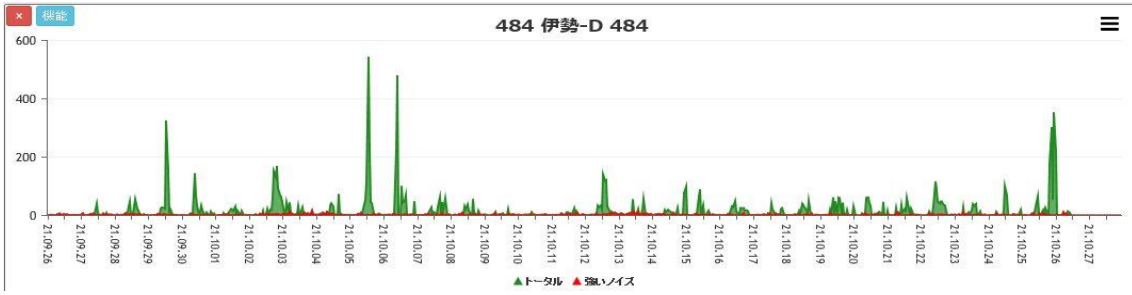
浜北 355 30 日間データ



浜北 355 30 日間データ



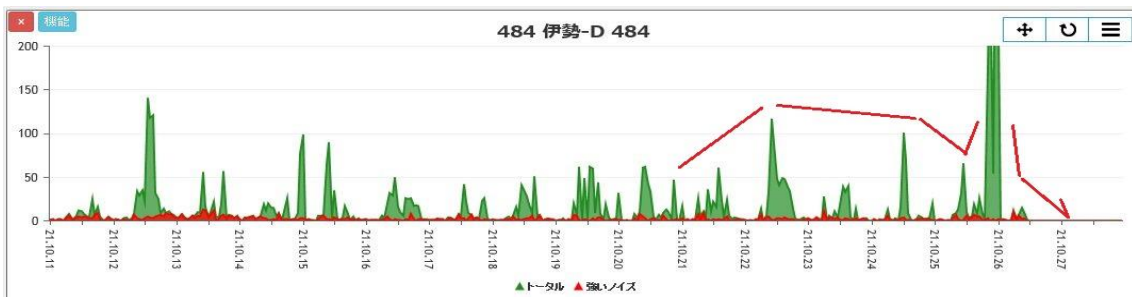
伊勢D484 30 日間データ



伊勢E 481 30 日間データ



伊勢D484 15 日間データ



伊勢E 481 15 日間データ



三重志摩 30日間データ



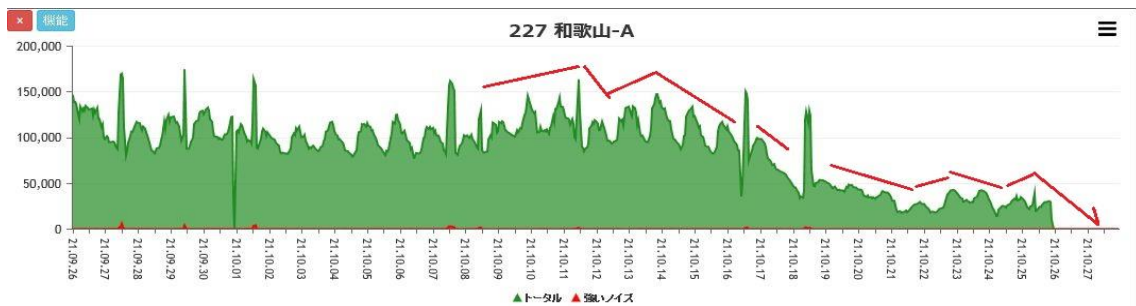
三重志摩 30日間データ (拡大)



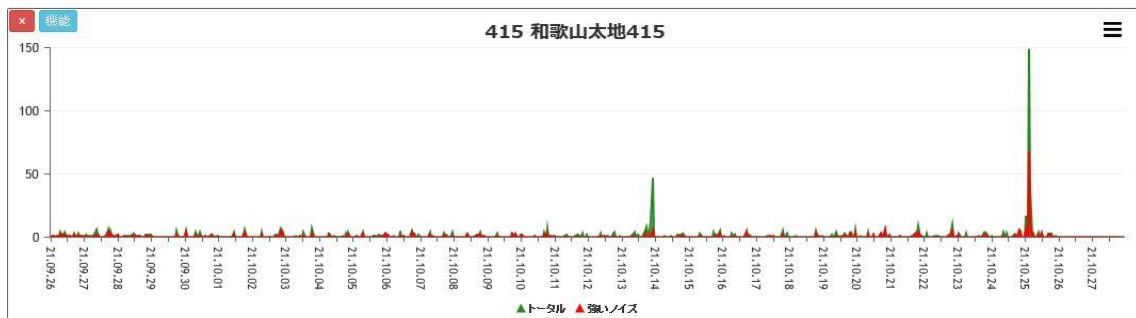
御前崎 30日間データ



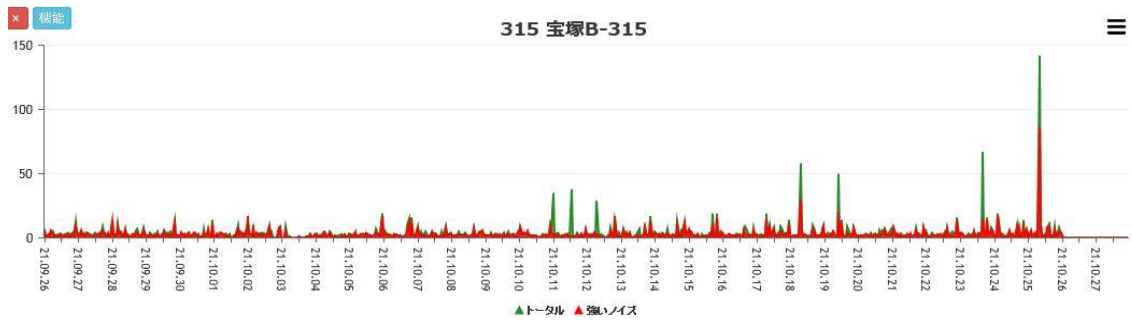
和歌山A 30日間データ



和歌山 大地 30日間データ



宝塚 30日間データ



大阪 高槻 30日間データ



高知市介良 30日間データ

